

③ リユースの推進

<事例紹介 1>

「JFE カエルみらい館のリユースの取り組みについて」

苫小牧市

環境衛生部 ゼロごみ推進室 ゼロごみ推進課

環境学習交流施設 館長 大黒 智也

苫小牧市環境学習交流施設

JFEカエルみらい館の リユースの取り組みについて

令和8年10月
苫小牧市環境衛生部ゼロゴミ推進室ゼロゴミ推進課



1

1 施設概要



【苫小牧市環境学習交流施設】

愛称：**JFEカエルみらい館**



みらいびん

開設	平成11年4月 リサイクルプラザ苫小牧として開館（ごみに特化） 令和8年10月 環境学習交流施設としてリニューアル（幅広い環境テーマ）
構造	鉄骨造 地上2階建 ごみ処理施設である「JFE沼ノ端クリーンセンター」に併設
施設内容	事務室、市民工房1～3、 ぱくりっこ 、 再生再利用品展示室 、 修理室、森のひろば、エントランスホール、拠点回収コー ナー、大会議室、小会議室等
実施事業	① 再生再利用品家具の展示販売 ② 再生再利用品家具のオンライン展示 ③ 再生再利用品自転車の抽選販売 ④ 洋服等の交換事業「ぱくりっこ」 ⑤ エコるマイスター事業の拠点 ⑥ 各種講座の開催 ⑦ 様々な環境テーマにかかる展示や体験等による情報発信

2

1 施設概要



3

2 施設におけるリユースの取り組み

■ 再生再利用品家具・自転車 販売のはじまり

平成11年6月より展示開始
「排出されるごみの減量と資源の有効活用」
年6回の実施 申し込み制での販売

初年度で約3万人の利用実績

～時代背景～

平成9年に容器包装リサイクル法が施行
市民のリサイクル意識が高まり
『循環型社会への転換期』



▶ 苦小牧民報
平成13年5月15日
掲載記事より

4

3 再生再利用品 展示販売までのながれ

■ 再生再利用品家具・自転車の展示販売まで



大型ごみとして
排出される



沼ノ端クリーンセンター
プラットフォーム内で状態を
判断し、回収時に選別



修理作業へ
(苫小牧市シルバー人材センターへの委託事業)



状態や種類に応じ価格設定をし、
展示販売

大型ごみ処理手数料シール

受付番号を記入し、目立つところに貼ってください。

見 本

このシールの払戻し、再発行はいたしません。

手数料 300円

回収した大型ごみを再生再利用品として販売する場合があります。希望しない場合は口✓をしてください。
☐ 再生再利用を希望しません。

苫小牧市

5

4 「ジモティー」との連携

■ 令和8年4月に株式会社ジモティーと協定を締結。



ジモティー

地域情報サイト「ジモティー」への
掲載を開始

	市民	施設
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 来館前に展示品がわかる 取り置きが可能 あらかじめ運搬方法を考えて来館することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の展示室スペースには限りがあるため、取り扱い数の拡大が見込める

一方で、実際に展示しているものとジモティーでの取り引きが重なってしまわないように注意が必要。

➡ ジモティーに問い合わせが届き取引が成立した際は、すぐに展示品へ「売約済」札の表示で対応している。

6

5 再生再利用品の購入方法について

■ 施設へ来館の場合

展示販売品についている値札をはがし、窓口へ。
市民であることを確認し、その場で購入代金を支払い売り渡し。
(後日取りに来る場合は2週間以内の置き置きで対応。)

■ ジモティーからの場合

メッセージ機能を使用し、受取・支払いに来館する
日時の確認を行う。
⇒日時確定で置き置き対応。(確定日から2週間以内)

■ 利用実績

来館者購入 9割 ジモティー経由購入 1割

購入希望の方は、この用紙を窓口へお持ちの上、住所・氏名を記入してください。

品名		
金額	円	
購入後の返品・キャンセルは求めません。 品物の横断り・運搬は自らがいたします。		
ご住所	吉小牧市	
お名前		
後日お引取りの方の記入欄		
電話番号	-	取組日

JFEカエルみらい館

7

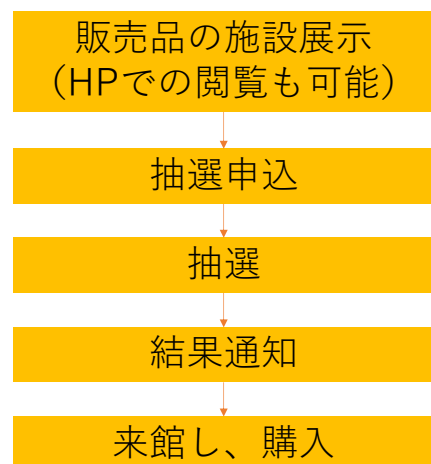
6 再生再利用品 ～リサイクル自転車～

■ リサイクル自転車の販売

修理後、即売品としての展示は行っていない

➡ 抽選制での販売を実施

抽選内容	
回数	年5回(4、6、8、10、3月)
台数	1回あたり30台程度
販売内容	子ども用(14インチ程度)～大人用(27インチ程度)まで様々な種類
販売前に注意していること	<ul style="list-style-type: none"> 防犯登録の解除 動作確認(施設側、購入者双方)
倍率 (R8.4実施時)	平均倍率 28倍 最高倍率 84倍
抽選参加人数 (R8.4実施時)	819人
販売価格	3千円～6千円程度
抽選参加方法	申込書をメール・FAXまたは施設ほか7箇所の公共施設の抽選箱へ投函



8

7 施設におけるリユースの取り組み

■ 年間の販売点数 (令和7年度)

	家具	自転車	合計
販売点数	409点	147点	556点
歳入	462,100円	640,500円	1,102,600円

家具1点あたり10kg、自転車1点あたり15kgで計算すると…

家具→4090kg 自転車→2205kg

年間約 6.2 t が再利用につながっている

9

8 洋服等の交換事業「ばくりっこ」

ばくりっこの方法



次の方が着られる状態の
衣料品を持参する



持参点数に応じて最大5点の交換が可能
(2人以上で利用の場合は最大8点まで)

× お断りしているもの

- ・ 下着など直接肌に触れる衣類
- ・ シワがたくさんあるもの
- ・ 食べこぼしのシミや黄ばみがあるもの
- ・ 流行にそぐわないもの (例: 肩パッドの入ったブラウスなど)

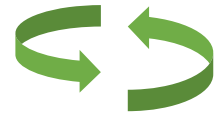


10

8 洋服等の交換事業「ばくりっこ」

■事業の趣旨

- ・ 市民の方々のリユースとリサイクル意識の向上
- ・ 所有から共有へ、循環型社会への概念を転換する
- ・ 人と地域のつながりを豊かにし、「交換し合う」ことで、ライフスタイルを変えることや、そのプロセスに新しい発見を生み出してもらう



11

8 洋服等の交換事業「ばくりっこ」

■事業開始のきっかけ

苫小牧市として行っている古着・古布の拠点回収に廃棄されている「まだ着られる服…」

市民の家庭には、行き場を失くした衣類がまだたくさん眠っているのでは？

もったいない！！！！

「お洒落着の交換会」としてイベントを企画

■ばくりっこの由来

不用品の物々交換というイメージを払拭し、だれでも参加して楽しめる交換の場
北海道弁の「ばくりっこ」と名付けることで、温かさを生み出し、「物を大切にする」
という心のシェア・繋がりを作りたい。



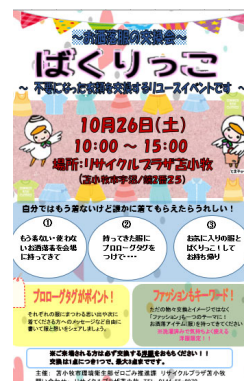
12

8 洋服の交換会 「ばくりっこ」の沿革

- 令和元年（2019）10月26日 一日だけの単発イベントとして開催。

イベント利用者数	122名
持ち込み数	174点
持ち出し数	153点

職員持ち込み衣料品
約400着でスタート



- 令和2年（2020）2月29日 市民活動センターでの開催を予定していたが、当日にコロナ緊急事態宣言により中止。

13

9 洋服の交換会 「ばくりっこ」の沿革

- 令和5年（2023）1月10日～プレオープン 760着スタート
- 令和5年（2023）4月1日～常設オープン 1,820着スタート

市内でも類似イベントが開催される

➡リユース・リサイクル意識の浸透に寄与

	利用者数（人）	持ち込み点数	持ち出し点数	支援提供数
令和3年度（1～3月）	949	1,873	577	0
令和5年度	3,354	5,570	2,877	47
令和6年度（4～1月）	2,002	5,328	2,685	19
令和7年度	2,789	4,437	4,019	66

🏠 他部署への支援提供・・・必要としている方のもとへ届く仕組みの構築 🏠

14

10 ばくりっこに関連した取り組み

■ 「もってけ市」の開催

令和7年度から、年2回程度の開催。
交換なしで上限点数（20点程度）まで持ち帰ることができる。

➡来館歴のない市民の方々でも利用しやすいイベント

来館者	施設
家庭からの持ち込みが不要	在庫管理の負担軽減
上限点数なく持ち出し可能	収納スペースの確保に寄与
初めての方も足を運びやすい	来館者の確保
当施設を知ることができる	市民ニーズのリサーチ

■ 053リユース文庫 平成27年度～現在まで

1000冊以上の絵本や小説（令和8年度9月時点） 返却不要の図書館のような場所



15

11 リユース事業での課題

■ 今後の課題

再生再利用品販売	ばくりっこ
・大型家具など含む修理前品の置き場の確保	・事業を行う場所の確保
・展示販売を行う場所の確保	・職員内でのルール明確化
・修理員の雇用について（修理員の高齢化問題など）	・市民への協力よびかけ →シミやシワの許容範囲 →流行にそぐわない物の断り

これまで需要と供給のサイクルを確立してきた
《必要としている方のもとへ届く仕組み》

16

12 最後に

■ リユース事業の役割

「ごみをごみで終わらせないための橋渡し役」

排出物が無くなれば
役割を終え次のステージへ…

■ 「JFEカエルみらい館」の役割

持続可能な循環型社会の実現に向けた拠点

